

令和2年度 第1回学校運営協議会 記録

日 時：令和2年7月27日（月）10：00～12：00

場 所：本校会議室

出席者：学校運営協議会委員（6名：私立大学教授、吹田市立中学校校長、本校PTA副会長、私立保育園園長、障がい者就業・生活支援センター センター長、株式会社 総務部）、校長、事務局（7名）、その他職員（進路部より1名）

1. 校長挨拶
2. 資料の確認
3. 高等部授業見学
（高等部職業自立コース2，3年 実習） 授業概略の説明、質疑応答
4. 委員紹介
5. 事務局紹介
6. 本校の現状報告
《学校経営計画について》

校長：めざす学校像は、学校教育目標である「たのしく、ゆたかに、げんきよく」をベースにしています。

中期的目標について、順に説明いたします。1つめの「たのしく」についてです。指導要領改訂に伴い、育成をめざす資質・能力の三つの柱があります。評価については、三つの観点で記述する様式に変更いたしました。ICTの活用については、高等部の生徒は一人一台iPadを所持しています。よく使っていますが、よりよく活用できるように改善していく必要がありますと考えています。校内の支援教育力向上については、マスクの着用について、学部を越えて皆で検討しました。支援学校ならではの観点でアイデアを出し合い、皆の見やすい場所に掲示して共有しています。次に2つめの「ゆたかに」についてです。キャリアマップについては、H30年度に有志でのプロジェクトチームを立ち上げ、学部を越えて検討を重ねました。成果物としてイラストを使って分かりやすく表現したリーフレットが完成いたしました。これを意識して実践しているところです。教員向けに、高等部卒業後の進路先への見学の機会を昨年度から夏休みに設けています。昨年度は7割の教員が参加しています。今年度も実施予定です。本校は働き続けることを大切にしており、マッチングが最も重要だと考えています。企業様には実習以外でも授業で学ぶことにも協力していただいています。余暇活動については、昨年度から文化部も立ち上げ、活動に参加する子どもが多くなってきています。次に3つめの「げんきよく」についてです。人権が一番大切にしていることです。子どもに対する適切な指導・支援について、共有認識を持っています。今年度についても研修を予定しています。防災については、昨年度に引き続き保護者と一緒ですぐメールを活用した訓練

を実施する予定です。機動力については、部主事と首席がよく連携しています。学部の事情も含めつつ、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成しました。

《教科書の選定について》

事務局より、教科書には三種類あり（文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書 ☆本、大阪府で使用を認められている一般図書）、発達年齢に合わせた適切なものを選んでいることを説明。各学部の教科書の一部について実物を紹介。

《進路状況報告》

進路部より、令和元年度卒業生の実習先、進路先について説明。進路先として、自立訓練が一番多く、職業自立コースより生活自立コースの就職者数の多いことが特徴であることも説明。グループホームは3名が利用。

《新型コロナウイルス対策について》

事務局より、本校の基本方針、濃厚接触者・感染者が出た場合の対応、児童生徒の健康観察、児童生徒の不調時の対応、授業や給食等での指導、来校者への対応等、本校のマニュアルと再開のロードマップを基に説明。マニュアルは、管理職、部主事、首席、養護教諭、栄養教諭、環境保健部長、保健主事、通学バス部長等、関係部署と連携し作成したものであり、現在も状況に合わせて変更しながら対応しているところであることも説明。

本校ホームページにアップしている視聴回数が一番多い、手洗い動画を視聴。

7. 協議（進行は会長のA委員）

A委員：現状報告のあった四点について、各立場からお話いただければと思います。

B委員：就労した生徒さんは定着していますが、就労を応援しているB型の方々、企業だけが就労ではないこと、働くこと、どういう支援があるのか、就職がゴールでなくその先を見据えてのマッチング等について、担任の先生はどのように考えておられますか。

進路部：高等部の担任団には、積極的に事業所見学などへ行ってもらっています。

A委員：コロナの影響で、就職するときの条件にはなかったテレワークやweb会議等が急に導入され、今までのルーティンのような作業が変わって困っている等の話を聞きますが、そのような相談はありましたか。

B委員：今のところはそのような相談はありません。精神手帳の人は上司と会わなくなっただけで良かったという話がありました。療育手帳をもっている方からの相談は、あまりありません。企業訪問がしづらくなりました。

A委員：体験実習や高3の就労をめざした実習などが上手くいっていないと聞きます。企業側としてはどうですか。

F委員：一般の面接を三段階に分けて縮小したり、リモートで対応したりしています。障がい者雇用者には、清掃業務のため在宅業務ができず、待機となり、その間は電話でのやり取りになったケースがありました。再開しても手順を忘れることなく、在宅で待機は初めてのことでしたが大丈夫でした。定着率を上げるために考えていきたいし、障がい者就業・生活支援センターとの連携を深めていきたいです。

D委員：今日の授業見学では、3年生が2年生に丁寧に教えている姿を見て、立派だと感動しました。絵本が教科書としてどのように工夫して使われているかに興味があります。コロナの影響でこの先が見えない状況で、どうやっていこうかと悩んでいます。活動によってどの

ようにマスクをつけることに取り組んでいるのかも気になります。

校 長：体育は、教室でマスクを外して袋に入れてから体育館へ移動します。給食は専用のマスクを持ってきてもらっているのです、取り換えています。袋を持ってきてもらい入れています。

事務局：高等部の生徒はほぼ自分で管理しているので、2つのマスクを持ってきてもらっています。日々指導しています。

A委員：更衣室での三密を避ける対応はどうされているのですか。

事務局：足形を廊下に貼り、順番で待つようにしています。6～7人以上にならないために取り組んでいますが、定着しつつあります。

A委員：大学でも支援学校のように足形やソーシャルディスタンスのための間隔や矢印等の工夫をしています。保護者の立場からはいかがでしょう。

E委員：長い休みがあったので行けるのかと心配しましたがデイサービスに毎日行ってくれていたもので、リズムは取れていました。感染しないかは一番心配でした。

A委員：通学バスの対応について教えてください。

事務局：通学バスの窓はあけられないので、運転席の窓を開けることと、外気取り入れ設定のエアコンを使って換気しています。乗車前の手指消毒と下車後の席の消毒を徹底しています。

A委員：教育実習について教えてください。

校 長：今年度は13名を予定しています。その他、介護実習や看護実習も受け入れますが、2学期以降にしています。保護者の参観も同様で、五日間を組み合わせで分散するように考えています。

A委員：授業を見学させていただき、学生を見習わせたいと思いました。教員をめざす学生には、ボランティアへ行くように取り組ませています。外部からの来校など、受け入れはどうされているのですか。

校 長：学生ボランティアは受け入れています。

A委員：そうでしたか。よかったです。

B委員：情報共有として、地方の支援学校の先生がジョブコーチの研修に来られています。職業評価を学校で取り入れているようです。もし、ジョブコーチや評価など、お知りになりたいことがあれば、協力させていただきます。

8. 本日のまとめと挨拶

9. 事務局より

第2回は12月7日（月）であることを確認。

10. 閉会